

会議録

会議の名称	令和８年度 第１回加西市総合政策審議会
開催日時	令和８年６月３０日（火）午前１０時００分～１１時２０分
開催場所	加西市役所 １階 多目的ホール
議長の名（会長 和田 真理子） 出席及び欠席委員の名 ＜出席委員＞ ・荒木 努 ・荒瀬 未知也 ・梅野 玲子 ・王子 英俊 ・小川 仁郎 ・川嶋 瑠美 ・高橋 伸弥 ・田中 脩平 ・谷勝 公代 ・中野 重美 ・濱本 泰秀 ・樋口 真史 ・蓬萊 眞子 ・和田 真理子	
傍聴者の人数 一般：なし 報道機関：なし	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・政策部長 高見 昭紀 ・政策部政策課長 小山 健一 ・政策部政策課 係長 大道 行雄 ・政策部政策課 係長 谷口 成俊 ・政策部政策課 主任 香川 理宇 ・政策部政策課 主事 三宅 里彩	
１ 議事 （１）加西市総合政策審議会の概要・進め方 （２）実施計画（令和７年度実績）における評価・検証について （３）内部評価の概要 ２ 報告 （１）加西市地域創生戦略の取組状況について ３ 会議資料 会議次第、資料１～５、参考資料一式、出席者名簿、配席図 第２期加西市行財政改革プラン（令和８年３月策定）、 第６次加西市総合計画（後期基本計画） ４ 会議の経過 ⇒別紙「第１回加西市総合政策審議会の経過」のとおり	

(別紙) 第1回加西市総合政策審議会の経過

発言者	会 議 の 経 過 / 発 言 内 容
政策部長	開会 1 挨拶 <加西市政策部長あいさつ> 2 委員の紹介 3 会長及び副会長の選出 事務局が会長を推薦することについて委員より承諾を得る。事務局より和田真理子委員を会長に推薦し、各委員より異議なし。 和田会長より、副会長には、濱本泰秀委員が指名され、各委員より異議なし。
会長	4 議事 <会長あいさつ> 今年は加西市のまちづくりにとって、非常に重要な節目となる年であると考えている。4月より、これまで市街化調整区域と市街化区域を区分していた「線引き」が廃止され、加西市のまちづくりの自由度が高まった。この大きな転換期において、今後のまちづくりの果たす役割が大変重要となる最初の年を迎えたと認識している。 その新たなまちづくりの中で、重要な役割となっているのが本審議会だと考えている。本審議会は、単に出席して報告を聴取するだけのものではなく、第2回、第3回の審議会では、少人数のグループに分かれ、市の職員と活発な意見交換を行う場となる。意見交換に向けた準備として、夏休みの宿題のような量の資料を読み込む必要があり、委員の皆様にはご負担をおかけすることになるが、行政と市民の皆様が協力してまちづくりを考えていく非常に貴重な場であるため、ご協力をお願いしたい。 今年度は、委員の約半数が新任の方々であり、大きな期待を寄せている。活発な意見交換が求められる本審議会では、硬直化することは好ましくないため、新旧の委員の方々が活発に議論できるよう、経験者の委員の方々にはぜひ議論を引っ張っていただき、新しい委員の方は存分にフレッシュな風を吹き込んでいただければと思う。 皆様にはご苦勞をおかけすることもあるが、実りの多い審議会となるよう、この1年間どうぞよろしくお願い申し上げる。
	(1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方 —資料1、参考資料(加西市総合計画の概要)に基づき事務局から説明— ➤ 意見なし (2) 実施計画(令和7年度実績)における評価・検証について —資料2、参考資料に基づき事務局から説明— (3) 内部評価の概要 —資料3に基づき事務局から説明—
委員	➤ 我々は4回の審議会に出席し、4回目に部会長が報告する会で終わる形だと思うが、資料2によると、「C評価以下の政策については今後の対応について報告する」とあるが、具体的にいつ評価を出して、誰がどこに報告するのか。
事務局	➤ 第2回と第3回の審議会の各部会でA～Cの評価が一旦確定する。C評価となったものについては、その時点で担当部署へフィードバックし、委員の皆様からの意見を踏まえて担当課で課題分析を進める。部会後から第4回までの期間で、課題分析した結果をまとめ、第4回の審議会において事務局から委員の皆様に対して改善策などを報告する。その報告に対して、第4回の審議会の中で、再度、委員の皆様と議論をしていただくという流れになる。

会長	●部会について(事務局から提案：参考資料p.5) ➤ 委員の皆様からのご異議がないため、事務局から提案のあった部会を編成したいと思います。評価・検証する事業の評価シートについては後日事務局より送付があるため、次の部会までに確認していただくようお願いする。 5 報告 (1) 加西市地域創生戦略の取組状況について —資料4、資料5に基づき事務局から説明— ➤ 意見なし 6 その他 ➤ 特になし
副会長	閉会 <副会長あいさつ> 私も本審議会には長く参加している。本日の会議では様々な説明があり、今後は不安になられる方もいらっしゃるかもしれないが、今回はあくまで導入であり、次回から本格的な評価に入る。全体で施策が38、施策目標が112におよぶ多くの内容があり、本来であれば全てを読み込んで意見を出していただくことが理想ではあるが、ご自身の興味のある分野や担当外のところも含めて目を通していただき、お気づきの点があればご意見をいただきたいと思う。いただいた意見は各部会の議論へとつながるため、お時間があれば全体を、少なくともご自身の所属する部会の部分は読み込んでいただき、活発に意見交換をしていただきたい。 先ほどの説明の中で「チェック機能」という言葉があったが、我々は市議会ではないため、チェックをして通してよいか否かを判断する立場ではない。行政内部による自己評価だけでは、時に甘くなったり厳しくなりすぎたりすることがある。そのため、委員の皆様は第三者的な視点から、世間一般の感覚に照らし合わせて「頑張っているところは評価し、まだ足りないところは率直に指摘する」という役割を果たすことが求められている。部会にはほぼすべての部長が出席されるため、市幹部の思いを直接聞けると同時に、民間目線、市民目線の我々がどのように考えているかを直接伝えられる機会であり、その内容を政策に活かされることとなる。 また、総合計画の理念にある「協創」をするという意味でも、重要な会議である。各部会の時間は2時間ほどであるが、資料を持ち帰って読み込むためには、5、6時間は費やすこととなる。加西市を共に創り上げていくという思いを持って、取り組んでいただくよう、よろしくお願い申し上げます。